

平成14年7月31日①

同窓会之報

発行所
四日市市大字日永字岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
Tel <0593> 45-3177



ご挨拶

会長 平野 哲次

最近のことですが、ボランティアで活動するグループの代表者数人と知り合う機会があり、その後親しくなるに従い、自身の生き方が少しずつ変化しているように感じています。

時間が経つにつれて、ボランティアに真正面から取り組んでいまして、会員の中にこの問題で悩んでいるかも知れない、また、これから子育てをするための知恵になればと、受け売りであるが、お伝えしておきます。

私が今まで出会った人達は、事業者やサラリーマン、公務員、自由業など様々ですが、自分を含め報酬を目的として仕事をしている人ばかりでした。それぞれの職業の分野で、立派に社会に貢献している人ばかりであることに間違いはないのであるが、うまく説明はできないが、何処かボランティアの人と違いを感じる。それが、私にとつて新鮮であり美しく輝いて見えるのは、今まで如何に俗っぽい世間で生きてきたかと考えさせられます。

代表者の一人で「ひまわりの会」を運営する関本さんという女性がいいます。彼女はまさに24

まず引きこもりの原因は、ほとんどが親にあるようです。子供達は親の期待に応えようと、本当の自分の思いを押し殺し、けなげに従おうとします。しかし「勉強しなさい」「いい成績をとらなさい」という言葉が、親のエゴや世間体であったならば、子供は歳を重ねることに、大人に対して猜疑心を募らせていきます。そして不登校となり、引きこもりとなるのです。では、どうすればよいのか。

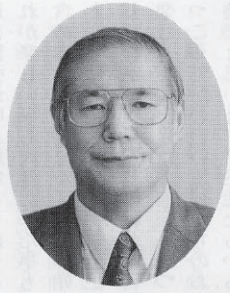
まず、親の「無償」の愛に包まれていて子供が実感したとき、自立が始まり、いきいきとした人生が歩めるようになること

最新PC学習環境を備えた「情報メディアルーム」が完成しました。

同窓会のホームページもアクセスよろしくお祈いします。
www.4nan.jp/~dousou/

常気象となっております。例年この原稿を書く時は、さほど暑さを感じなかったが、今年は各地

と決まっておりますので、早くなったりすることはありませぬ。クラスメートを誘って、ぜひ出席してください。



ご挨拶

学校長 寺下 弘

会員の皆様にはご健勝でお過ごしのことと思います。平素は南高校のためにご支援とご鞭撻をいただいていることに心からお礼を申し上げます。

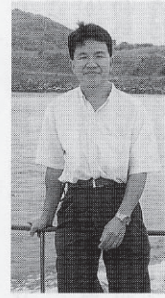
昨年度の354名の進路状況は、国公立大学への入学が73名、私立大学へが175名、短大及び専門学校へが28名、公務員等へが4名、浪人等が74名という結果でした。

ところで昨年度は、嬉しいことと悲しいことがありました。吹奏楽部など多くのクラブががんばる中で、演劇部がライバル四日市高校を押しやして県の最優秀校に選ばれ、愛知県での大会に出場したと、三月の初めに一年生1名が深夜のバイク事故で命を失ったことでした。事故については、PTA会長名で緊急のアピール文をすべての保護者に出してもらいました。新一年生は、高い入試倍率のなか、320名が入学しました。例年のようにPTA進路指導研究会により、入学式後に進路希望のアンケートがとられました。その結果は、国公立大学へが68・4%、私立大学へが16%でした。また、お子様はどう考えていると思えますかという問いには、国公立大学が56・2%、私立大学が19・8%という結果でした。回答率が平均で94・1%と高くなつたことと、国公立大学及

さて、本年度は、完全学校週五日制が始まり、本校は授業時間数を確保するため、週四日は45分7限授業とし、可能な授業は90分で行っています。また、土曜日には、先生方の協力もあつて、学校を開放し自主的に学習している生徒の質問にも答えることが出来るようにしたり、希望者には補講を実施したりしています。その他、学校行事の見直しで懸案になっていた春の遠足を取りやめました。これらのごことについては、本年度内に分析し、15年度からの新学習指導要領実施への対応を含めて考えていく必要があると考えています。いずれにしても、本校伝統の「開拓者精神」を忘れることなく、生徒が誇りをもてる学校を目指してさらに努力をしていきたいと思ひます。引き続き会員皆様のご支援、ご鞭撻をお願いいたします。

同窓生の近況

鶏口となるも牛後となるなかれ



中村 泰 (18期生)

「鶏口となるも牛後となるなかれ(史記・蘇秦伝)」。この言葉を知ったのはまさに南高校の1年生のときだった。以来この言葉が気になっていた。決して気に入っているわけではない、むしろ不快な印象を持って

いる。向上心のない奴の言い訳か、夢を捨ててしまった奴の負け惜しみか、そりやそれが現実、いや真実なのかもしれないがそうはつきり言うなよ…。で今自分がまさに「鶏口」である。卒業後母校順天堂大学の附属病院で循環器内科医を目指した。あちらこちらの出向病院や基礎の教室での研究生生活を経て97年からCCU(循環器疾患集中治療室)の室長をしていた。当然ながらCCUに収容されている患者さんは一瞬も目を離せない重症の人たちばかりで責任者として毎日が緊張の連続であり、同時に冠動脈形成術(狭心症や心筋梗塞に対する血管内手術)の指導者としてもストレスは大きかったように思う。夜間・休日と呼ばれるのは当たり前で家族

今年も教育実習が行われました。実習真っ最中の第36〜40期生の方々に感想をお聞きしました。



伊藤宏之 (36期生)

からは「うちは母子家庭」と言われ申し訳なく思ってもいた。しかし仕事のやりがいはいは大きかったし、ささやかながら誇りも持っていた。仕事のストレスが大きい分スタッフ達とこれを発散するときはかなり派手で朝まで飲んだりするのも珍しくなく、それはそれで楽しかった。本郷や水道橋、神楽坂界限がつかしい。しかし、「牛後」である。

40歳になること、ボスが退官すること、長女が小学校に入學すること、などなどいろいろな条件が重なって00年4月に四日市に戻り父親の診療所を継承、開業した。大学病院勤務医と町医者では同じ医者でもまるつきり違う。自分の専門分野に関してはこれまでの知識が役に立つがそれ以外は全然分からない。一から勉強しなおした。たいへんだ。ただ一方で時間の余裕は大幅に増えた。父親が健在で土曜日の診療をしてくれるのをいことに完全週休2日制を決め込んでチビ達と遊び回っている。父親もいつまでも仕事はできまい、チビ達もすぐに親父のことなど見向きもなくなるだろう。「鶏口」でもいいや。今しばらく遊び呆けてみよう。

石原和歌子 (37期生)

一度、別れを告げて去った場所を時を経て再び戻って来ることができるとは、とても恵まれていて幸せなことだと思えます。

校舎へたどり着くまでの長い階段、教室から見える緑。私が高校生の頃と何一つ変わらず私を迎えてくれました。ただ一つ、この南高校に流れる空気を除いて、ここに流れる空気は全て、現役の元気な南高生のものです。卒業して三年余りという時間を初めて長いものだったのだと実感し、一種の寂しさとこれからの私(社会人の卵としての)を思い、何やら身の引きまがる気持ちでいっぱいです。

今一度、この南高校を去ります。今度は沢山の感謝を込めて。

吉田 麗 (37期生)

卒業して5年が経ち、老いた体に登城ヶ丘が立ちほはだかる。姉に借りた文明の利器、「電動機つき自転車」の力を借り、私は母校へ帰ってきた。

久々の母校で出会う後輩たちは、実に元気だった。体育祭、これは、多くの在学中よりもすばらしいものだった。ここでも、南高生の持つエネルギーと明るさが遺憾なく発揮されていた。

「南高の未来は明るい」と実感した二週間だった。南高のさらなる発展を祈念して、筆を置

も絶対に載っていない素晴らしい経験が出来ました。苦しみなながらも何とか出来た授業も、諸先生方の心温かいご指導のおかげだと思えます。本当にありがとうございました。

伊藤幹朗 (38期生)

教育実習が始まってから僕は、先生というよりも生徒だったという気がします。僕は他の実習生に比べ時間的に余裕があったので、生徒と接する時間は本当にたくさんあります。いい仲間になりました。でも実習が終わる時の生徒との別れは本当につらかったです。高校生活に戻ったこの2週間は本当に楽しい思い出が作れました。充実しすぎたこの2週間。自分の教師になりたいという思いはますますふくらみました。お世話になった先生方本当にありがとうございました。そして生徒のみんな「向上心」を持って楽しい高校生活を送ってください。南高最高!!

島田真由美 (38期生)

この二週間は一生忘れません。多くの先生方、そして生徒達。たくさんの人々に支えられ、励まされて過ごしました。思うように授業が出来ず、教えることがいかに難しいかを感じ知らされることもありました。そんな時には先生方の言葉に助けられました。放課後には、生徒と様々な話をしました。そこから学ぶことも多くありました。

私は生徒に、たくさんの方を教えられました。今思うと、その多さに改めて驚かされます。この実習で得た数え切れない思いを胸に、今度は教師として生徒と向き合いたいと思えます。

川崎由佳 (38期生)

今から2週間前、大きな不安を抱きながら、登城ヶ丘へと続く坂道を登ってきました。大勢の人の前でうまく話せるのか、生徒とうまく付き合えるのかなどばかり考えていました。でも、1日、2日を過ぎていくうちに毎日があつこあつこという間に終わってしまつて、気付けばもう

種村朱根 (38期生)

4年後に教育実習に来ます。と言いつつ、南高校を卒業した。あれから4年経ち、まだ学生気分の方が教師を務めることができるのか不安だった。

やはり思った通り実習は大変で、寝れない日々が続いたけどそんなつらさも、生徒達の元氣

さに吹き飛ばされ、無事に実習を終えることができた。実習生という立場で、生徒の気持ちも教師の気持ちも分かり、この3週間でもできない沢山の経験をする事ができた。教師というのは授業だけが大切な事ではないと知り、大きく成長した自分に驚いている。お世話になった先生方には心から感謝したい。ありがとうございます。

育木智子 (40期生)

卒業して、まだ2年もたっていないのですが、教師という立場に立ってみると、南高校の生徒は本当に明るくて素直な子たちばかりでした。高校生のパワーに圧倒されながら、あつという間に過ぎた3週間、たくさんの生徒と出会えたことを心よりうれしく思います。

躍進する部活動

☆天文部

天文部活動報告

ご存知の通り地味なクラブですが、昨年はしし座流星群で大ブレイクしました。数年前より「大出現」といわれつづけ、「天文現象はマスコミが騒げば騒ぐほど期待外れ」のジンクスどおり、がっかりが続きしし座流星群。しかし昨年からはアッシャー博士の流星群出現予報が登場して、ピッタリの出現時間・一夜にして数千個の流星群。まさに一生に一度の貴重な体験を、天文部員のみならず多くの方々が体験されたことと思います。この流星群に関しては全国の高校生を観測ネットワークが組織され、南高の天文部もこれに参

ち場に立つてみると、南高校の生徒は本当に明るくて素直な子たちばかりでした。高校生のパワーに圧倒されながら、あつという間に過ぎた3週間、たくさんの生徒と出会えたことを心よりうれしく思います。

保健室には、ケガ人や病人だけでなく、心の病んだ生徒も来ます。この3週間の間にも何人かの悩みを聞きましたが、あの生徒は今どうしているだろうか心配でなりません。悩める高校生にエールを送りたいです。苦悩を乗り越えるのも一つの経験。強く生きろ！

加して観測報告を行いました。また、三重県高等学校理科教育研究会の年次活動報告である「三重科学」にも報告をして資料活用してもらうなど、学術的にも意味のある活動が出来ました。以下は、参加した生徒たちの感想文です。

空に星が降った星の広場

天文部員 太田菜緒子

2001年11月18日(日) 24時00分 星の広場に着くと、そこには五等星ぐらゐの星が輝いていた。五等星ぐらゐといえは...どうだろう、きつと澄んだ山で見えるくらいなのかもしれない。それらの星を一目見たときに、「今日は何かあるかもしれない。」と期待し

た。前後には一晩かかって数個しか見れなかった流星も、今夜は0時に顔を見せ始める。

11月19日(月) 2時00分

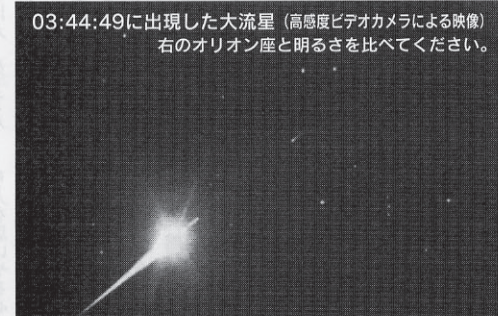
私たちが観測する事の一つは、流星を数える事だ。それは十分間ずつ数える。

私達は今から降り注ぐ流星に期待している。でも...

「去年は100個も流れなかったから、今年もきつとそらだよ。」これがわたしの心情。

「きつとこのまま減っていくんだ。」とじつと空を見ていた。

最初はこんなベース。少しずつ増えていく流星にあつ流れた。」と言いつける事が困難になってくる。「あつ、あつ」という内にもう3つは流れる。これが2時過ぎ。数える流星も一気に増える。凄いな。すごい。そう思いながら、数を忘れないように声を出して数えた。隣で空を見上げるクラブメイトと、「私の方が1個多い。」とか言いながら...。200! 201! 202! あちこちで星が降る。こんな表現絶対おかしけれど、そこはイメージしてほしい。ともかく目をつぶる暇もなく、強い光を発して流れるものは、まるで雷のように、弱



03:44:49に出現した大流星 (高感度ビデオカメラによる映像) 右のオリオン座と明るさを比べてください。

るでパソコンに引く一本の線のようにな...。一瞬で消えるが、まだみえているような気がするものもあった。

11月19日(月) 3時20分

アッシャー博士が予告した時間...。流星は2秒に1個が流れるようになつて10分間あたり200個の後半へ。あたりに人も増えて流星が流れるとともに「ああ」と声が聞こえる。一つの流星をじつと見つめて、感動する暇もなく、もう一つが飛ぶ。

また「ああ」と聞こえる。ずつとその繰り返す。いつの間にかピークが過ぎる。

11月19日(月) 4時00分

「ここまでの流星数254」そして少しずつ減っていく、流星の数。しかし、数が減つても50個をきることはなかった。増えたり減つたりを繰り返しながら、段々と数が減っていく。まだ空にはうつつすらと流星が見える。先生が「流星痕だ。」と言つてから空を見上げると、数秒前に輝いた流星の塵の跡。上空の風に吹かれて、もう雲か何かわからなかつたけど...。そこには興奮した時間を流星痕が記憶しているように思えた。

今思うと大変だったし、結構辛

かつたけれど、なかなかおもしろいものを見たんだなあ、と実感する。太陽が昇るのも見た。その頃にはもう流星は見えなかつたけれど...目を瞑るとそこにはまだ数個の流星が流れている。もう目に焼きついてしまったようだ。

11月19日(月) 7時00分

眠たいなあ、と思いながらも家でテレビを見ると、「これは一生に一回しか見れないらしい」と聞き、一瞬耳を疑ったが、あんなに流れたことを考えれば、それもそうかもしれない。つまり、ちょうどこの時期に天文部にてJCKX Mars Watch Day

ところで、このしし座流星群を見なかつたという人はいませんか? この機会に天文に興味を持つた人とかは? 天文部の先生、物理の伊藤先生かまたは私達(2002年度現在3年生矢田・太田・山口)にお知らせ下さい。一晩を6分にまとめたビデオをお貸しします。

先生、素晴らしい機会をありがとうございました。そして、流星の塵を残していった彗星もありがどう。私達天文部は、あの日に協力してくれた全ての人(星・もの)に感謝しています。(天文学者アッシャー博士にも)。

忘れられない一夜

天文部員 矢田佳奈恵

去年、11月18日から19日にかけて、天文部としてしし座流星群

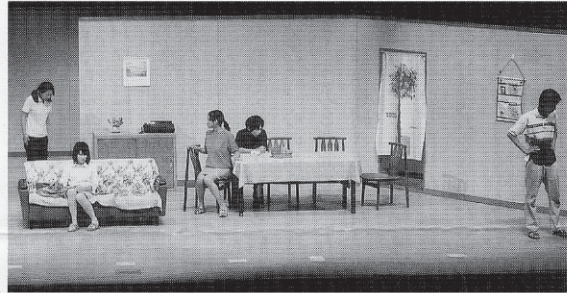
の観測を行いました。その夜は風が強かつたけれど、本当に雲ひとつない良い空で、流星群への期待が高まりました。観測の準備をし始めるにつれ、明るい流星が夜空をわけていき、その後もう少しづつ数を増やしながら出現しました。そして午前0時、観測開始。私たちの役目は、10分間ていくつの流星が飛んだのかを数え、記録をとっていくことでした。初めのうちは数えながら他の星を眺めたりする余裕がある程度でしたが、時間が経つにつれ、もうそこそこではなくなつていきました。

この日、しし座流星群の出現のピークは午前3時頃という予想だったのですが、これが当たって私達は最高で10分間あたり300個もの流星群を観測する事が出来ました。計測が大変だった中でも、感動が膨れ上がり、その時は興奮を抑えざる事が出来ませんでした。そんな私の口からは、もはや「凄い」という言葉しか出てこず、ただひたすらその光景を見つめ続けていました。

あの夜の体験は、もうどう表現すればいいのか分かりません。今でも目を閉じて思い出せば、数多くの流星が流れていきます。流星群を眺めていた時は、時間が止まっていたような感じがして、朝にはすっかり心が癒されてしまいました。私は貴重な体験を、きつといつまでも忘れられないと確信を持っているほど素晴らしい一夜だったと思っています。

★演劇部

「中部大会」 私たちにとつてこの大会は大きな目標でした。一年生の時に上演した「もう一人の善き人」では、県大会四位という結果で幕を閉じ、実現させることはできませんでした。でもその事で県大会にいったことへの喜びと、中部大会にはいけなかったことへの悔しさの両面を味わい、私たちは目標に対する想いをさらに強めました。翌年、私たちは部活動の中心である二年生となつて、気持ちも新たに引き締め稽古に取り組みました。そして話し合いの結果、今年の夏の大会では創作「Doubt」を上演する事に決定しました。自分たちの演劇を一人から創るといふ事もあつて脚本の完成版がなかなかできず、焦りと不安にかられる日々が続きました。そんな中、追い打ちをかけたのは、「このままだと県大会に行くことも難しい」という先輩方の言葉でした。私たちの目標は「中部大会」ここで崩れてたまるかと、みんな一生懸命に頑張りました。そんな時、出された一つの提案が脚本の一部を変えようというものでした。それはこの演劇の後味を決める重要な場面、しかも本番間近ということもあつて初めはすくなくためらいました。でも、変えないと悔いが残る...そう考えて私たちは脚本の変更をすることにしました。この決断は、お互



いがこのメンバーなら絶対にやれる!と信じ合えたからこそできたことでした。そして、県大会出場が決まつて、とうとう中部大会出場校の結果発表のときがきました。「最優秀賞、四日市南高校」四日市南の「南」の言葉を聞いた瞬間、私たちは一斉に歓声を上げ、泣いて喜びました。あの時の感動は今でも鮮明に覚えています。そして、中部大会において私たちは精一杯「Doubt」を上演しました。全国大会出場は実現できなかったけれど、とても良い思い出になつたと思つています。みんな一つのことをやり遂げる難しさ。やり遂げた後の満足感。一生懸命に頑張れば、目標を叶える事ができるということ。本当にいろいろな事を学んできました。私たちはそんな南高演劇部での活動を、誇りに思つています。

▼陸上部

陸上部は、人数が少ないながらも女子千五百Mで大谷恵理さんが東大会へ出場を決め、日々練習に励んでいます。今年は一年生の入部が二人と極めて少なく寂しい限りですが、個人競技の特性を活かして、それぞれの目標をクリアすべく練習に取り組んでいます。OBの方々は非グランドに来て叱咤激励の程、宜しくお願いします。

▼卓球部

現在、部員は男子12人、女子7人の19人です。最近では、地区予選を通過する選手も増え、結果を残せるようになりまし。しかし、まだまだ県で通用せず負けて悔しい思いをすることも多くあります。今年も、一人一人目標に向かって、頑張りたいと思います!

▼バドミントン部

男女とも県総体団体戦一回戦は勝利を取めました。総体個人戦では、シングルス2部で男子服部が準優勝、女子後藤がベスト8と、すばらしい成績を残してきました。また、四日市市民バドミントン大会の高校生部門でも男子の服部、稲垣ペアが見事優勝しました。6月現在、部員は男子19名、女子26名で早朝練習を含め、日々熱心に練習しています。

▼剣道部

今年度の1年生は、男子が2名、女子が5名入部し、久しぶりに女子団体戦に参加しました。また、四日市市民大会で1年男子谷口元規が個人戦で3位に入賞しました。今年度も、OB・OG大会に参加します。本校OB会は8月11日(日)に開催する予定です。

▼ソフトテニス部

ソフトテニス部は現在、男子17名、

女子4名の21名で活動しています。県総体では、男子団体が一回戦負けという悔しい思いをしました。しかしこの大会で自分達の劣つていた点がそれぞれ分かつたのではないかと思います。

コートが一面しかありませんが、全員で「頭を使ったテニス」を心掛けて練習に励んでいます。

▼水泳部

水球に競泳にと日々練習に取り組んでおりますが、人格形成人間教育を大前提にあいさつ指導からはじまり人を思いやる心を強調している今日であります。

学校にお寄りの際はぜひプールの方へ足をお運び下さいましてあいさつがきちんとできるのか確認いただければと思います。

▼柔道部

<http://www.4tan.jp>のホームページを開いて下さい。柔道部のコーナーは話題満載です。

とりわけ、2年生の水谷一樹君が新人戦において、一人で連続六人抜きを、県総体では、81kg級で三位入賞しました。

来年は東海総体・全国総体をめざしたいものです。部員は三年生8名、二年生6名ですが、一年生は1名だけで女子はいません。新人部員の確保と充実した練習が課題です。

▼サッカー部

現在の部員数は2年11名、1年16名、マネージャー4名です。春のインターハイ予選では、惜しくも2回戦で宇治山田高校に1対0で負けました。

現在は3年生も引退し、新チームで日々の練習に励んでいます。先輩達の悔しさを忘れずに、より高いレベルを目指し、毎日頑張つていききたいと思つています。

平成13年度 進路状況

2002年入試 大学合格者数

大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格
山形	6	秋田県立	1	玉川	1	愛知学院	1	京都女子	4
筑波	1	福井県立	1	中央	4	金城学院	15	京都橘女子	1
埼玉	1	静岡県立	1	東海	5	桐山学園	13	同志社	4
東京外国語	1	愛知県立	2	東京経済	1	大同工業	3	同志社女子	3
東京商船	1	愛知県立芸術	1	東京農業	6	中京	33	佛教	2
横浜国立	1	名古屋立	2	東京農科	2	中京女子	1	立命館	22
富山	4	三重県立看護	1	東京理科	2	中部	25	龍谷	15
金沢	5	京都府立医科	1	日本	10	同朋	2	大阪学院	1
福井	3	大阪市立	2	法政	6	名古屋外国語	19	大阪体育	1
山梨	1	神戸市看護	1	明治	8	名古屋学院	3	大阪電気通信	1
信州	10	岡山県立	2	明治薬科	1	名古屋経済	2	大阪薬科	1
静岡	2	広島県立	1	立正	1	名古屋芸術	3	関西	7
愛知教育	2	◆公立大合計	16	早稲田	2	名古屋商科	4	関西外国語	1
名古屋	7	◆国公立大合計	102	東京工芸	1	名古屋女子	9	近畿	9
名古屋工業	3	文京	1	神奈川	1	名古屋造形芸術	2	関西学院	6
岐阜	3	聖徳	1	関東学院	1	藤田保健衛生	2	甲南	1
三重	26	学習院	1	金沢工業	11	南山	20	甲南女子	3
和歌山	1	北里	1	福井工業	2	日本福祉	12	神戸学院	1
岡山	1	共立薬科	1	岐阜経済	1	名城	64	神戸女子	2
広島	1	慶應義塾	1	岐阜女子	1	名古屋文理	1	神戸薬科	1
徳島	1	工学院	1	名古屋学芸	1	人間環境	1	武庫川女子	1
高知	1	駒澤	1	愛知	32	聖學館	12	鳥取環境	1
九州工業	1	国際基督教	1	愛知学院	16	鈴鹿医療科学	2	岡山理科	2
長崎	1	成蹊	2	愛知医科	2	四日市	6	九州産業	1
大分	1	成城	1	愛知工業	30	大谷	1	立命館アジア太平洋	1
鹿児島	1	専修	6	愛知工科	1	京都外国語	2	◆私立大合計	530
鹿児島	1	創価	1	愛知淑徳	8	京都産業	3		

2002年春の卒業生354名の進路状況は、国公立大学21%、私立大学49%、短期大学2%、専門学校6%という結果でした。浪人生は約19%、66名です。他に若干名が就職、無業者、海外留学となつています。数理科学コースの79名に限ると、国公立大学へ52%が進学しています。

ところで国立大学のセンター試験5教科7科目化の問題ですが、現高校2年生に課す科目がようやく各大学から発表になりました。8割以上の大学で現高校2年生からセンター試験で7科目が必要となります。特に従来、文系学部で社会2科目を必要とする大学がほとんどなかったため、今までの入試と比較した負担増は、文系進学者望者により厳しくなります。しかし理系にとつても理科2科目から逃げられなくなるわけで、非常に重い負担増となることは間違いない

▼ハンドボール部

新年度早々の春季大会は男女共に2回戦敗退でした。
新入部員は男子11名、女子6名です。

練習は体育館を中心に週数回の使用で男女共に実施しています。内容の濃さで勝負をしようと思いが、体力の面で今一歩及ばない欠点を随所に出してしまっています。この欠点を克服して上位進出を願いたいものです。

▼硬式野球部

今年も夏大会が近づいて来ましたが、春の県大会では、初戦で敗退しましたが、その悔しさをバネにチーム一丸となって練習に励んでいます。一戦一戦を大切に、目標はあくまでも、決勝進出。現在の部員数は、選手39名、マネージャー4名。ご声援下さい。

▼女子サッカー同好会

現在部員は3年5名、2年6名、1年9名の20名です。
デビュー戦であった昨年の新人大会では惜しくも2位でした。
現在は、全国大会の県予選での優勝を目標に日々練習に励んでいます。サッカー未経験者ばかりですが、チームワークと気力で優勝を合言葉に頑張つてゆきたいと思つてい

▼ゴルフ同好会

我々ゴルフ同好会は、部員数1人で活動しています。今年から顧問が福森先生に変わり、ゴルフ同好会は確実に成長しています。ゴルフ同好会は数年前に結成され一時は崩壊の危機もありましたが、無事それらを乗り切つて参りましたが、我々の次の目標は、大会でいい結果を残すということも勿論ですが、まず「部」に昇格することです。

▼ダンス愛好会

ダンスの好きな人、この指とまれ！やと自作品をいろいろな場面で発表できるようにしました。南高祭オープニング、中学生の学校見学会にセレモニとして、又12月には三重県高校ダンスフェスティバルに参加、作品名「てふてふ」サバタイトルは舞いダンスでした。今年も南高祭やダンスフェスティバルで発表したいと思っています。

▼吹奏楽部

昨年度、中日コンクール大編成・優勝グループ、朝日コンクールA編成・銀賞。現在部員数77名、実力十歌って踊れる吹奏楽部をめざし毎日練習に励んでいます。3月21日の第14回定演ではお陰様で入場者数700名を突破しました。本年度は平成15年3月22日四日市市文化会館第1ホールにおいて第15回定期演奏会を開催いたします。皆様の御来場を心よりお待ちしております。

▼放送・映画研究部

現在一年生部員2名の小さなクラブ。しかし、活動面においては、日常的には、映画の名作、話題作を鑑賞しながら、体育祭のアナウンス、実況中継、文化祭の総合司会と活躍の場は多面的である。できたら、昼食休憩時の、ディスクジョッキーや音楽紹介なども、可愛い一年生部員二人は意欲的である。

▼書道部

現在部員は三年生だけの少人数で行っていますが、練習は非常に熱心で意欲的に作品制作に取り組んでいます。本年度も南高祭、高文祭、三重県高等学校文化祭書道部門に出品の予定です。

▼美術部

本年二月に旧東館が耐震工事により大変綺麗になり、美術室も見違える程になりました。

待望の新人部員が三名入部、内男子二名という快挙。
五月二十四日には、フランス在住の画家アルラン・デニス氏を迎え、実演を混えて部員の作品講評もいただきました。(関連記事が翌日、中日、毎日、伊勢の各新聞に掲載されました)

▼新聞部

南高校唯一のマスメディアとして少人数ながら頑張っています。最近二部マスコミが個人に不快感を与える記事を書いているが、我が新聞部はだれにでも楽しく読んで頂ける記事を提供できるように努めています。

▼箏曲部

今年も新人部員2名が加わり、女子10名で活動しています。講師の佐藤先生の御指導のもと、毎週木曜日に礼法室で練習しています。琴の未経験者ばかりですが、先輩後輩が教え合つて、楽しく上達しています。現在男女問わず部員募集中！見学もできます。8月6日(火)に津リッジョンプラザお城ホールで行う演奏会を皆さん見に来て下さい。

▼文芸部

本年度は新入部員が一人入つて、計七人と少し寂しくなりました。一年に四回の部誌を出しています。昨年は高校文芸会への選考会に二名出席し、多くの作品を読み、自らの感覚を広げました。

▼イラスト部

今年も新入部員がなんと八人も入部し、好調なスタートを切ることができました。
イラスト部は、年一回の部誌発行、体育祭やクラスマッチ、文化祭のパンフレットを描くことなどを主な活動として行います。
今年も魂のこもった、個性あふれる多くの作品をほりきって描きますので、是非期待して下さい!!

▼囲碁将棋部

昨年は近畿総合文化祭将棋部門のA級個人戦の代表を勝ち取った以外が目立った活躍が無く、今年こそはと思つています。さて、今年も新一年生が三人入り部員数は六名となり、なんとが廃部寸前の事態を切り抜けることができました。これから、もっと部員数を増やし、全国大会出場に向け、がんばりたいと思

▼電算無線部

16名ほどの部員で毎日活動しています。体育祭、文化祭の時はその模様を即日ホームページへアップしています(実は夜遅くまでかかってしまうのです)。また、4月から南高の公式ホームページのリニューアルにも手をつけ始めました。短期間に技術力をアップさせた部員の力作を、クラブのページとともにぜひ一度ご覧下さい。

▼インターアクト部

今年も一年生三名、二年生二名が入部し、計十三名で活動しています。例年通りの街頭募金や各施設・作業所への訪問などはもちろん、南高祭では献血車と呼ぼう、夏休みには24時間TVに参加しようなどといった、新たな活動も計画中です。活動が増え、部員一同、一つ一つの魂をこめて活動しています。

▼華道同好会

待望の新入部員を二名迎え、また顧問以外に初々しい先生方をお誘いして総勢十三名で、本高卒業生でもある南先生の指導のもと、賑やかに活動しています。今年から作法室を使わせていただくこととなり、畳の上でのんびりとくつろぎながら生け花を楽しんでいます。

ありません。文・理いずれにしても、今まで以上に対策をしつかりとする必要があります。

現2年生の入試のうち一つのトピックは、この年、2004年よりセンター試験の時間割が変更され、理科3科目受験が可能となることです。ただセンター試験で理科3科目を課す大学は2004年入試ではありません。しかし注意が必要なのは、二次試験科目についてはまだ発表になっていない点です。2年生は入試動向から目が離せません。

さて、現3年生の状況ですが、2004年に大きく変わる国立大学入試の狭間にあつて、「7科目」も移行期、各大学により様々な状況です。受験生の動向もつかみにくく、予想の難しい入試になりそうです。また減少が続いていた受験人口も横ばいとなります。私立大学についても合格者数を絞ってきたためやや難化した今春の状況が続くそうです。3年生に期待することは、じつくりと学力を養い、積極的に入試問題にチャレンジし、どんな入試状況になつても対応できる本物の実力をつけることです。ポーターフリー大学が現れてから全国的にモチベーションが低下し勉強しなくなった高校生が急増する中、南高はまだまた受験の王道を行く力を持っています。

ところで今年から完全学校週5日制が始まりましたが、現高校1年生が卒業するまでは、教えるべき内容は変わりません。大学入試の出題範囲も変わりません。土曜日がなくなった分だけ毎週の5日間は過密化しています。さらに大学受験の負担が増え、今の高校生は1年から3年まで「ゆとり」とは正反対の状況におかれています(昨年ここに書かせていただきましたが、進路指導部としては、若者の教育を考えると「7科目」それ自体には、異を唱えるものはありません)。本校ではこうした現実に対応するため、この4月より全学年で毎週土曜日に課外授業、補習授業を希望者対象に行っています。空白の土・日の学習のペース作りに大勢の生徒が主体的に利用することを期待しています。

(進路指導部主任 三吉 研一)

ご注意ください!

同窓会名鑑を作成する目録で、調査会まるといハガキが多く、同窓会員に郵送されておりましたが、南高同窓会は一切関係はありませので御注意下さい。



先生お元気ですか

長年本校に勤務され、退職又は転勤された先生方にアンケート形式の手紙に答えていただきました。

◆アンケート項目

- ①南高を転退職されてから何年になりますか。
- ②何歳になられましたか。(おさしつかえなければ)
- ③現在のお勤め先又はご職業と併せて近況をお聞かせ下さい。
- ④趣味あるいは余暇の活用等の様子をお聞かせ下さい。
- ⑤南高で最も印象に残っていることはどんな事ですか。
- ⑥南高及び南高生にご助言があればお聞かせ下さい。

山崎 亨雄 先生



- ①退職から4年目です。ずいぶん長く南高から離れているような気がします。もう一度戻りたいような気持ちです。
- 先頃4月の入学式の日、久しぶりでチョットとお邪魔しました。②64歳です。気持ちは南高時代と変わっていないのですが、目が悪くなり(老眼進行中)白髪もふえ、体力も精神力も少しずつ低下しているようです。
- ③眺中・高等学校(6年制)とユマニテク医療専門学校で時間講師をしています。眺の方は世界史、ユマニテク医療専門学校では「歴史と自然環境」というテーマで文明の盛衰と自然環境の変動や環境破壊との関係などの話をしています。
- ④趣味は日本画：もう20年ほどもやっています。毎年4〜5月の連休頃、津の総合文化センターで開く「泉会日本画展」に出品しています。
- ⑤第2の趣味は織物、一昨年は長さ12mの模様織り「森と水の譜」を作製、今は黒のショールを織っています。織機も自作しています。
- ⑥その他、庭に花木や果樹を植え、畑もつくっています。だんだん増えて吉野桜2本、八重桜・黄桜・山桜：う本、栗・柿・ミカン・いちじく・ユズ・レモン・グミ、畑もえんどう豆・そら豆が終わって、カボチャ・キュウリ・ナス・ピーマン・タマネギ……おかげで結構多忙です。
- ⑦もう何年前でしょうか、3年生の担任をしたクラスが南高祭で全員で「ウエストサイド物語」を全曲踊ってアカデミー賞を獲得。この学年は進学成績も良好でした。

ついで、事務的な仕事の面では四日市高校との群制度の解消に

伴って、南高のイメージアップのため、いろいろなことを実施したこと。とくに数理解科学コースの設置や南高のエンブレムの作製・体育館建てかえと将来計画の作製にかかわったことが大きな思い出です。今、あのときつくったエンブレムはどうなっているでしょうか？

水野 主計 先生



- ①五年になりました。
- ②六十一才になりました。
- ③少し早目に退職して以来、ずっと南校で講師としてお世話になっております。
- ④③で記した時間を除けば、主婦専業の毎日です。その合間を縫って知人や友人と誘い誘われしながら、あちらこちらへと出かけるのが楽しみになっています。
- ⑤クラス担任の思い出をひとつ。
二年生になって初めて担任したそのクラスは、当時の南高生としてはめずらしいほどの担任泣かせのクラスでした。学業は勿論のこと、基本的な生活習慣を身につけさせるのに大いにこすりました。まずは毎日の清掃。大変な労力を要しました。その日もやつとのことでなんとか箒を持たせましたが、友達と追っかけ合ったりちゃんばらごっこをしたりして一向にやろうとしない。そこで、私も箒を取り、長い柄で彼のお尻に一発見舞いました。かなり効いたようで「いたあ！あたたた！せ、先生！暴力は止めてよ。(掃除を)するーする。」と言いながらしやがみ込んでいました。まだまだ私にも元気があったんですね。その彼も今や立派な社会人としてどこかで活躍していることでしょう。
- ⑥ますますのご発展をお祈りしております。

★原稿を募集します★

- 内容：自由。
- 字数：800〜1000程度
- 期限：平成15年4月末日(今すぐでも結構です)
- 提出先：南高校内同窓会事務局
- 卒業同期・氏名を明記してください。

教職員異動

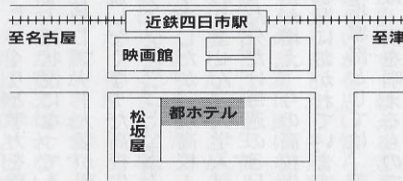
平成十四年度(敬称略)	〔退職〕	〔転出先〕	〔転入〕
総括技術	武内 征男	数学	事務次長
数学	村山 邦子	数学	出口多芳美
数学	細見 明典	数学	若林 公之
公民	岡留 優介	県教育委員会	福森 賢一
地歴	岡嶋 元秀	上野商業高校	西山 淳
生物	杉本 久直	四日市高校	田辺 俊
保健体育	杉山 哲夫	福生高校	五島 治男
保健体育	川北 久	龜山高校	赤塚 綾子
書道	高澤 裕	四日市高校	神谷 啓
英語	吉恵	相可高校	寺島 千卓
		四日市農芸高校	佐藤 大雄
			小椋美奈子
			矢田 寿乃
			雨夜奈穂子
			大森恵美子
			小久保 晶
			渡辺 歩
			畠学園
			四日市四郷高校
			農林水産商工部
			いなべ総合学園
			桑名高校
			名張西高校
			龜山高校
			菟野高校
			相可高校
			四日市高校
			名張高校
			いなべ総合学園

●総会ご案内●

- とき 平成14年8月11日(日) 午後3時30分より
- 会場 四日市都ホテル・3階

会計報告など総会(30分程)、立食パーティー形式の懇親会を予定しております。例年、1期生から卒業されたばかりの方々まで、様々な年度の卒業生に集まっていたいただいています。
今年も、同級生や先輩・後輩の方々とお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

会場案内地図



同窓会役員

会長	平野 哲次 (1期)
副会長	竹内(伊藤)久美子 (2期)
書記	木村 哲美 (6期)
理事	大日方敏之 (15期)
"	小柳 秀樹 (20期)
"	寺尾 俊一 (20期)

【学校側】	
顧問	寺下 弘 学校長
会計	大森恵美子 事務次長
理事	浦田真澄 教諭
"	川井田真澄 "
"	田中 留美 "

【連絡先】

〒510-8562 四日市市日永字岡山4917
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局
TEL<0593>45-3177・3178
FAX<0593>45-9549